

第三者評価 事業者コメント

【受審理由】

『学校法人 常盤学園 やよいこども園』は、平成28年度で開園7年目を迎えました。幼保連携型認定こども園として、1号児認定・2号児認定・3号児認定の子どもをお預かりしています。

幼保連携の機能の充実をはかるため、また、園の運営に関して保護者の視点からの評価を真摯に受け止め、必要と思われるものは改善し、園全体の質の向上を目指すことをねらいとして受審しました。

【総 評】

・・・特に優れている点・・・

1. 学びのきっかけとなる英語や体育、鍵盤ハーモニカなどの活動体験を重視しています。
2. 広い園庭にビオトープや築山を作るなど園庭環境を整えています。
3. 園内研修の充実を図り、園全体で保育力の向上に取り組んでいます。

・・・さらなる取り組みが期待される点・・・

1. 「栄養指導」や「健康指導」など、栄養や保健に関する教育を取り入れていくことが望まれます。
2. 子どもに対する接し方について、今一度職員間で話し合われることを期待します。
3. 充実した保育をするための職場環境の整備を期待します。

【今後の取り組みについて】

やよいこども園では、教育・保育を一体的に行うことを理念として、「いいあたま・やさしい心・じょうぶなからだ・がまんづよい子」を教育・保育目標に掲げ、その想いに添って毎日の教育・保育や行事を実践しています。学びのきっかけとなる体験活動の継続や自然に恵まれた園庭での季節を体感しながら、実のなる果物などの収穫体験、ビオトープでの水辺の生き物などとの触れ合い体験、伸びのびと体を存分に使った遊び体験などを通して、子どもたちの心身の健やかな成長への支援をしていきます。園内での研修のさらなる内容の充実、それぞれの職員の保育の知識や技術等を深め、園児の教育・保育へ取り組んでいきます。

さらなる取り組みが期待される点として挙げられた内容については、1の取り組みとして、専門性を生かして、栄養士による「栄養指導」、看護師による「健康指導」の内容を見直し、子どもたちが「食」と「健康」などへの興味や関心を深め、日常の生活に浸透するように取り組んでいきます。2の取り組みとして、子どもの最善の利益を守ることを使命に、研修や会議等を通して学び合い、子どもを中心とした保育への共通理解のもと子どもの「生きる力」を育てるために努力していきます。3の取り組みとして、それぞれの職員が夢や希望をもち、将来のビジョンや目的を達成できるように、働きがいのある職場環境の構築に取り組んでいきます。

第三者評価を実施したことにより、園の運営を見直す良いきっかけになり、新たな課題に取り組んでいく姿勢を持つことが出来たことは大きな成果でした。今後も子どもたちが健やかに成長するための保育の質を高め、保護者の安心できる施設として努力していきます。